

## 米大統領選と宴の後

トランプかハリス、どちらが勝つか。議会はねじれになるか。共和党が大統領、両院の完全制覇を果たすか。それにより政策の実現性、実現のスピードは変わる。市場への影響も変わる。

市場は現在、大統領選に支配されている。現時点ではトランプ優勢の展開だ。米長期金利上昇、ドル買い、ビットコイン上昇、株高などいわゆるトランプトレードが席卷する。

短期的なトレードはこれでいいが、中長期的なポジションを考えるとそう簡単にはいかない。

この流れがいつまで続くか。トランプトレードの根拠になっていることが実現するのか。実現してもそれが予期する市場の反応をもたらすのか。

例えば長期金利の上昇は政策がもたらす財政赤字の拡大によるものだが、議会の構成によっては拡大が制限される。関税の引き上げはインフレ要因となり金利上昇圧力と考えられるが、第一次トランプ政権の通商代表部代表で今回もトランプが勝てば政権入り期待されるライトハイザーによれば第一次政権で関税を上げてインフレは発生しなかったと主張する。

財政拡大により財政赤字が増えれば海外からの資本流入によるファイナンスが必要になる。当然ドル高が求められる。政権移行チームの有力者は、トランプは表向きと違ってドル高論者と擁護している。だがトランプのことだ、財政赤字が問題になっているときの最悪のタイミングでドル安を主張するかもしれない。そうなれば海外資本の円滑な流入は阻害される。その結果長期金利高騰、ドル暴落といったシナリオが現実を帯びてくる。

大統領選直後には FOMC が開かれる。金融市場では 0.25% の引き下げを確実視している。ただそれでも直近ではその可能性がほんの僅か低下した。トランプ勝利による長期金利高とインフレ再燃を警戒したものだ。だがデータ重視の FOMC のメンバーが大統領選の影響を受けることは考えにくい、少なくとも今回だけは。